

『さかさ竹』

磐司岩に住む磐次郎・磐三郎が、鬼ばばが住む長袋に向けて矢を放ったところ、石ヶ森山をかすめたために、失速して手前の畑に突き刺さった。その矢はそのまま逆さまになって根付いたので、人々はこれを「逆さ竹」と呼び今も大切に保存している

【ようこそ「秋保の民話」へ】

仙台城下と山形とを結ぶ交通・交易の拠点であった秋保郷。江戸時代から続く民話や伝承を記録した「遠野物語」。秋保と遠野は地理的、地勢的に共通点があり、遠野物語ほど数は多くないものの秋保にも多くの民話、伝承が残されています。

日常から離れて癒されたいとき、晴れやかな青空を眺めたいとき、里山の木々に包まれリフレッシュしたいとき、そんな時にはぜひ秋保郷を訪ね歩くことをおすすめします。

秋保郷には民話に登場する日本の原風景が残っています。このパンフでは、民話の情景を色濃く残す場所、大切に受け継がれている昔話を紹介しています。



秋保 いって みっぺ

長袋の民話

秋保の民話の伝承活動として、定期的に民話語りを行っています。どうぞお立ち寄りください。

- 場 所 秋保・里センター(観光案内所)
- 活動日 毎月第2、第4日曜日 10時30分～11時30分

いってみっぺ 秋保 長袋の民話

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

往古千年の街道に、語り継がれる物語がある。

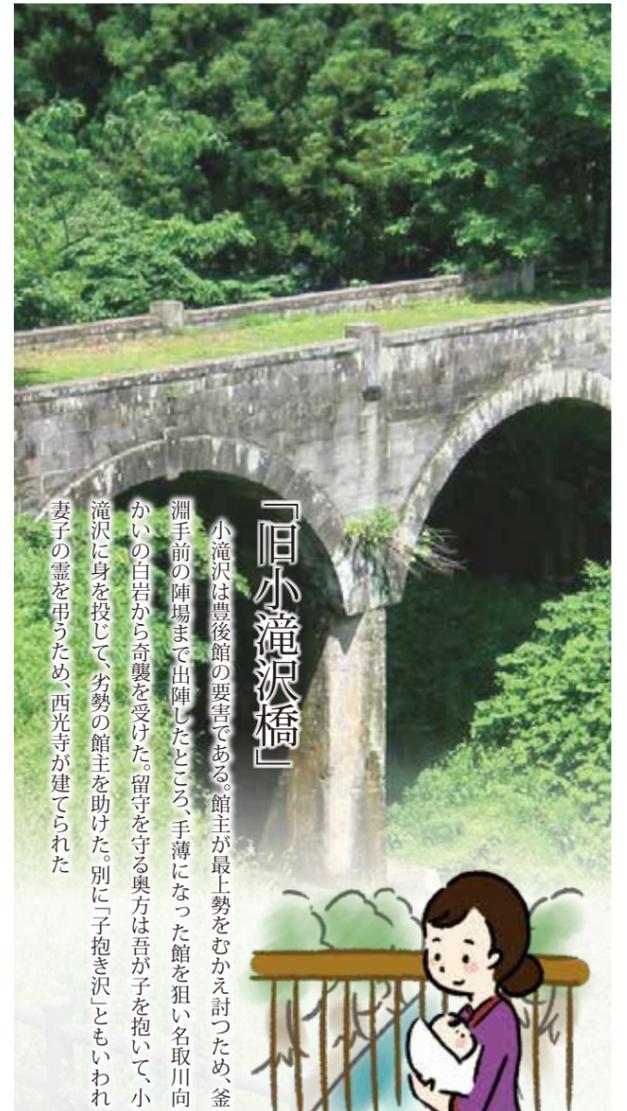
自然、歴史、喜び、悲しみ・・・

長袋を歩いて巡る、昔語りの舞台への旅。

掲載されている情報は、平成29年3月現在のものです。

訪れてみたい秋保
二口街道ツアー 62

No.13



『旧小滝沢橋』

小滝沢は豊後館の要害である。館主が最上勢をむかえ討つため、釜淵手前の陣場まで出陣したところ、手薄になった館を狙い名取川向かいの白岩から奇襲を受けた。留守を守る奥方は吾が子を抱いて、小滝沢に身を投じて、劣勢の館主を助けた。別に「子抱き沢」ともいわれ、妻子の霊を弔うため、西光寺が建てられた



『清水窪』

白拍子「静御前」が、義経の後を追ひ、秋保の長袋の地まで来て倒れていたところ、野中の旧家の祖先に助けられたが、義経討死の報を聞き、悲しみのあまりこの地で亡くなった。その墓が二口街道脇に建てられたと伝えられている



『おせん地蔵』

二口街道を歩き来る旅人が、辻斬りに襲われ命を落としたり、供養に訪れていた娘のおせんも切りつけられたが、刀は三つに折れ、娘の命は助かった。それは、六尺あまりの大石が身代わりになってくれたのだという

長袋の民話発祥の地を歩いて巡る旅!

12 しらいわ 白岩

名取川河岸の断崖絶壁の景勝地。高さ80mの白い岩壁が350mも続きます。四季を通じて、山水画を思わせる静かな佇まいを見ることができます。対岸からの展望がお勧めです。



徒歩20分

11 きゅうこ だき さわばし 旧小滝沢橋

通称「めがね橋」。昭和14年竣工、石ヶ森産秋保石の石橋で、桜の季節は展望台からの撮影が絶景ポイントです。豊後館主秋保定重の妻子にまつわる悲しい伝説を伝える橋で、「子抱き沢橋」とも呼ばれています。



徒歩7分

10 あきうけ こびょう だいうんじ 秋保家御廟 大雲寺

南に白岩を望み、見晴らしの良い高台にあります。秋保を長く治めた秋保氏の藩政時代後期の墓所が「秋保家御廟」です。秋保氏の功績を伝える菩提寺として知られています。



9 しみずくぼ 清水窪 私有地のため、許可なく立ち入りできません



静かな木立の中に、静御前ゆかりの清水、手植えのヒバ、腰掛石と伝わる場所が遺されています。

徒歩12分

8 しずか ござん ひ 静御前の碑

源義経と静御前の悲恋物語は、秋保の地にもその遺構があります。義経の冥福を祈りながら、静御前が没した地として、石碑が建立されています。周辺には、静御前の伝説が数多く残されています。



徒歩7分

7 あきう じんじや 秋保神社 第2コースのスタート地

歴代藩主も参詣した由緒ある神社で、かつては、相撲、流鏝馬などが境内で行われました。近年は、「勝負の神」としての信仰も集め、秋の例大祭では秋保神社神楽や霊験あらたかな「湯立て神事」が執り行われています。



第2コース

所要時間約90分

折り返し

6 さか だけ 逆さ竹



10坪ほどの畑に密集してこんもり生えている竹林。磐次郎・磐三郎伝説を由縁とし、地域の方々に長い間親しまれている名所です。秋保神社のかつての流鏝馬では、この竹から矢を作る習わしでした。

徒歩15分

5 いちりづか 一里塚

山寺へ通じる旧二口街道沿いに残る一里塚。わずかに遺された土塁の跡がその歴史を伝えています。



4 こまつ あみだ によらい 小松阿弥陀如来

このお堂は、秋保における平家落人伝説の発祥の伝説を伝える貴重な建物です。平重盛ゆかりの像は、現在向泉寺境内にある阿弥陀如来堂に安置され、秋にはご開帳があります。



徒歩15分

3 なみき あみだ どう 並木阿弥陀堂

平家の落ち武者たちが、山伏姿に身を変えて、平重盛の遺骸をここに埋葬し、阿弥陀如来を安置したといういわれを持つお堂です。一行は、秋保氏の祖となり、また、共に逃れてきた平貞能は、青葉区大倉にある定義に移り、定義西方寺の始祖と伝えられています。



徒歩7分

2 おせん 地蔵

秋保中学校前にある地蔵さん。おせんという娘を守るため、身代わりになってくれた物語を残します。今は、その傍らに交通安全を見守る地蔵と一緒に地域の人々に大切に祀られています。



徒歩3分

第1コース 所要時間 約120分

1 あきう しみん 秋保市民センター

スタート地点 長袋の民話の旅へGO!

徒歩1分



第1コース 第2コース

お休み処

太田とうふ店

幕末創業の老舗豆腐店
三角油揚げ、竹豆腐が絶品
☎022-399-2707



お休み処

そば処 悠全

竹林に囲まれた閑静な佇まい。岩魚天ざるそばが逸品
☎022-399-4034

